

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、令和元年12月議会の議決を経た後に正式に指定することになる。

1 指定概要

(1) 施設概要

名称：浅生スポーツセンター
所在地・施設内容：別添資料のとおり

(2) 指定期間

令和2年4月1日～令和7年3月31日

(3) 指定管理者候補の概要

名称：戸畑スポーツコミュニティ共同事業体
所在地：北九州市小倉北区砂津二丁目11番23号
代表企業：株式会社 オリエンタルコンサルタンツ 北九州事務所
構成員：第一警備保障株式会社
主な業務内容：公共施設等の社会基盤整備事業及びこれに関する事業の企画・調査・測量・計画・管理並びに評価・診断・提案・指導、警備業務、ビル総合維持管理業務、労働者派遣事業

2 指定の経緯

令和元年	9月 5日	募集説明会
元年	8月30日～9月26日	申請書及び提案書の受付
元年	10月 7日～8日	指定管理者検討会の開催
元年	11月	指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

- ア 法人、その他の団体であること。(個人による応募は不可)
- イ 本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。
- ウ 募集説明会に参加していること。(共同事業体で応募する際は、代表団体が募集説明会に参加していること。)
- エ スポーツ施設の管理運営及びスポーツ振興に関するノウハウや能力を有すること。

(2) 応募状況

説明会参加：11団体

応募件数：1団体

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討した。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定した。

4 検討会構成員

[学識経験者]

南 博（北九州市立大学 地域戦略研究所 兼 地域創生学群 教授）

[学識経験者]

田代 利恵（九州共立大学 スポーツ学部 スポーツ学科 教授）

[スポーツクラブ経営・育成]

井口 佳久（特定非営利活動法人スポーツウェイヴ九州 理事）

[財務専門家]

寺崎 政勝（寺崎政勝税理士事務所 所長）

[企業経営有識者]

河邊 政恵（株式会社リバー不動産 代表取締役社長）

5 選定基準

選定基準（＝審査項目）目及びポイント	
1	指定管理者としての適性
	(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
	① 応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営（指定管理業務）に対する理念や基本方針を持っているか。
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
	① 長期間安定的な管理運営（指定管理業務）を行っていただくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
	(3) 実績や経験など
	① 応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
	② 応募団体が施設の管理運営（指定管理業務）に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。
	③ 複数の団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確になっているか。
2	管理運営計画の適確性
	【有効性】
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
- ② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
- ③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られる提案があるか。
- ④ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
- ④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。

【効率性】

(3) 指定管理業務に係る経費

- ① 指定管理業務に係る費用が妥当なものであるか。
- ② 経費を低減するための実施可能な提案があるか（市の仕様書の変更による効率化を含む）。
- ③ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支計画の内容が合理的かつ妥当なものであるか。
- ④ 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われる場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫されているか。

(4) 収入の増加に向けた創意工夫

- ① 収入を増加するための実施可能な提案があるか。

【適正性】

(5) 管理運営体制など

- ① 施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
- ② 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
- ③ 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。
- ④ 職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。
- ⑤ 地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。

(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が十分に考えられているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。
- ③ 日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
- ④ 防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。

6 審査結果

(1) 得点

団体名	選定基準（＝審査項目） 及びポイント	配点	評価レベル					審査 結果	得点
			構成員						
			A	B	C	D	E		
戸畑 スポーツ コミュニティ 共同事業体	1 指定管理者としての適性								
	(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針	5	4	3	3	3	4	3	3
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	3	3	3	4	4	3	3
	(3) 実績や経験など	5	3	3	4	4	4	4	4
	2 管理運営計画の適確性								
	【有効性】								
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	30	4	4	4	4	4	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	4	4	4	4	4	4	8
	【効率性】								
	(3) 指定管理業務に係る経費	15	3	3	4	3	4	3	9
	(4) 収入増加に向けた創意工夫	10	4	4	3	3	4	4	8
	【適正性】								
	(5) 管理運営体制など	10	3	3	3	3	4	3	6
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	4	3	3	3	4	3	6
合計	100	73	70	72	72	80	-	71	
地元団体に対する優遇措置（5点）								76	

(2) 検討会における主な意見

- ・『Partner と「続く」スポーツ、コミュニティ』という基本方針に基づき、地域団体等と連携した様々な提案を行っており、その提案内容が、継続的な施設の運営に向けて可能性があるものだと感じた。
- ・スポーツ以外での施設利用に関する提案を積極的に取り入れており、そのような事業を展開することは、施設の利用の促進につながると感じた。
- ・これまでの実績に基づいた意欲的な提案であると感じた。また、様々な地域団体と連携した提案が多くそのことは評価できる。
- ・プレゼンテーションでの説明が大変分かりやすく、そのことから、普段、施設で行っている業務と提案文書の内容が一致していると感じた。
- ・構成企業について、財務状況等に少し不安は感じるものの、提案全体としては、良い提案であった。

(3) 検討会における検討結果

基本方針に基づき、様々な関係団体と連携した内容での提案を行っていることや施設利用者数を増やす取組みとして、スポーツ以外での施設利用に関する提案を積極的に取り入れていることは、評価できる。以上のことから、浅生スポーツセンターの業務を行うのに十分な適格性を有していると考ええる。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、戸畑スポーツコミュニティ共同事業体を指定管理者候補に選定した。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙『提案概要』のとおり。

(2) 市における主な選定理由

- ・プレゼンテーションを通じて、提案内容が、これまでの実績に基づいた意欲的なものであると感じた。
- ・利用団体や大学等、様々な地域団体との連携に関する提案が多く、地域に根差した施設運営を期待できる。
- ・施設利用者数を増やす取組みとして、スポーツ以外での施設利用に関する提案を積極的に取り入れていることは、評価できる。

8 提案額

95,500千円（令和2年度～6年度までの各年度）

北九州市立浅生スポーツセンター施設概要

No	施設名	設置根拠条例	所在地 (北九州市)	建設年月日	供用開始年月日	建築物の概要	利用時間	休業日
1	浅生スポーツセンター	北九州市スポーツ施設条例	戸畑区浅生二丁目 1番1号	平成28年6月13日	平成28年9月1日	敷地面積:約30,700㎡ 構造:プール体育館棟:RC造 (一部S造)地上3階 武道場棟:RC造(一部S造)地上2階 規模:延床面積約8,100㎡ 体育館棟(約6,020㎡) 武道場棟(約2,065㎡) ・体育館棟 1階:室内温水プール(25m6コース公認仕様、 幼児用プール、歩行者用プール)トレーニング 室、事務室、会議室、倉庫等 2階:アリーナ 3階:観覧席 ・武道場棟 1階:柔剣道場(各2面) 2階:弓道場(近的12人立) ・庭球場:6面 ・駐車場(146台) ・駐輪場(自転車44台、バイク13台)	9時00分～21時00分	年末年始 (12月29日～翌年1月3日)

提 案 概 要

浅生スポーツセンター

団体名： 戸畑スポーツコミュニティ共同事業体

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
<p>理 念：TOBATA de SPORTS with Partner～パートナーと共に創る豊かなスポーツライフ～</p> <p>基本方針：Partner と「続く」スポーツ、コミュニティ。</p> <p>基本方針を実現するためのアクションプラン</p> <p>動 ing：健康づくりから競技まで、幅広い世代がスポーツを始めたくなる、そして続けたくなる、参加意欲を刺激する場を提供する。</p> <p>学 ing：スポーツや健康、栄養等に関する学びの場を継続的に提供し、スポーツを「する」のみでなく「みる」「創る・支える」機会をつくる。</p> <p>美 ing：トレーナーが市民のパートナーとなり、エクササイズに加えて、老若男女を問わず心身共にいつまでも若々しさを持続できる体験を提供する。</p> <p>笑 ing：スポーツの楽しさにエンターテインメントの要素を加えた、地域が笑いでつながる持続的な関係となるための事業を実施する。</p> <p>人々：地域・医療・指導等の新しいパートナーと協働し、利用者に対するハートフルな施設利用を提供する。</p>
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
<ul style="list-style-type: none"> ・(株)オリエンタルコンサルタンツの人的基盤は、北九州市内の公共施設の管理運営従事者が多数在籍していることから安定している。財政基盤は売上高・営業利益とも増加している。 ・第一警備保障(株)の人的基盤は、北九州市内に従業員が多数在籍していることから、安定している。財政基盤は安定しており、直近期では売上高・営業利益とも大きく増加している。
(3) 実績や経験など
<ul style="list-style-type: none"> ・(株)オリエンタルコンサルタンツは、市内の浅生スポーツセンターや響灘緑地グリーンパークをはじめ、国内各所でスポーツ施設や公園等の指定管理者を務めている。 ・第一警備保障(株)は、浅生スポーツセンターや響灘緑地グリーンパーク、市営駐車場の指定管理実績をもつほか、市内を中心に施設警備、駐車場管理等の業務を年100件以上実施。 ・浅生スポーツセンターを開館当初より管理運営し、市のスポーツ振興に貢献してきた。今後は一層多様な連携を展開し利用者から愛され親しまれる施設にしていく。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに取組み明るく豊かな生活を送る市民を増やすため、利用者の多様なニーズに応える新たなチャレンジを続けることで、施設の設置目的の達成に貢献する。数値目標としては、利用者数30.5万人、利用者満足度95%以上、年間1つ以上の新規教室開講、地域連携企画数前年度比増、重大事故数ゼロの5つを設定し、それぞれ、目標値の実現を確実にするための管理運営方針を設定する。 ・市の政策を後押しする取組みを実施する。特にスポーツ振興計画の5つの政策に沿った取組みや、SDGsに係る活動を積極的に行います。 ・施設の利用者増に向けた既存教室等の魅力向上と、新たな利用者獲得に向けた新規教室の開講

<p>に取組み、より多くの市民にスポーツに親しんでもらえるように活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規教室やイベント等の実施にあたっては、様々な媒体を用いた効果的・効率的な情報発信を行うことで、設置目的の達成に貢献する。
<p>(2) 利用者の満足度</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの利用者ニーズをふまえ、満足度向上のために人に投資し、トレーニング室での指導の充実や「運動型健康増進施設」への認定活動、スタッフの利用者対応能力向上、利用者への学習機会の提供、飲食物販サービスの充実等に取り組む。 ・利用者意見は多様な方法で収集し、対応フローに基づいて分類と優先順位付けを行ったうえで、優先度の高いものから順次対応する。 ・苦情には、未然防止・発生時対応・再発防止の3視点で対応する。 ・利用者への情報提供は正確・迅速に行い、自主モニタリングにて改善を図る。

<p>【効率性】に関する取組み</p>
<p>(1) 指定管理料及び収入</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・約3年間の浅生スポーツセンターの指定管理で培ったノウハウ・知識を活かし、サービスの更なる向上と安全・安心を確保したうえでのコスト削減を実現します。 ・使用料収入については、未使用時間の減少と魅力ある自主事業の展開により、サービス向上と認知度向上を実現し、使用料収入増につなげます。使用料は条例通りとし、値上げ等については利用者に丁寧に説明します。
<p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・収支計画は過去約3年間の実績をもとに算出し、コスト削減と自主事業の積極展開による効率的な管理運営を基本に、妥当性・実現性の高い積算をしている。 ・再委託については、自社施工を基本とするため、専門作業・特殊作業のみ、市内業者を優先して委託する。

<p>【適正性】に関する取組み</p>
<p>(1) 管理運営体制など</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・浅生スポーツセンターの管理運営を熟知した人員による体制を構築し、これまでの知識・体験を活かしたよりよい施設管理を行う。 ・人員は、経験者や有資格者によるプールの安全管理体制と、接遇やユニバーサルマナー対応のできる受付窓口のサービス向上を重視して配置する。 ・スタッフの資質・能力向上を図るため、基本研修・専門研修を定期的実施するとともに、施設特性をふまえた関連資格の取得を促進する。 ・地域住民・団体との連携協働により事業を展開し、施設価値を向上する。
<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報、厳重な管理と適切な取扱い方法、定期的な見直し、保護体制の強化を行い、利用者により安心して利用頂ける施設にする。 ・子どもや高齢者、障害者、外国人、団体・個人など多様な利用者の平等利用を実現し、市民へのスポーツ普及を促進する。 ・利用者の安全・安心を第一に、事故を防止する安全対策と緊急時の速やかな対応のためのリスクマネジメントを実行する。 ・機械警備に加えた人的警備により安全を確保するとともに、日常からの訓練により災害への備えを万全にする。

提案額（千円）

令和2年度	95,500千円
令和3年度	95,500千円
令和4年度	95,500千円
令和5年度	95,500千円
令和6年度	95,500千円

浅生スポーツセンター施設指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和元年 10 月 9 日（火） 10：50～11：55
- 2 場 所 北九州市役所 15 階 15C 会議室
- 3 出席者 (検討会メンバー)
井口構成員、河邊構成員、田代構成員、寺崎構成員、南構成員
(事務局)
市民文化スポーツ局 スポーツ振興課
スポーツ施設担当課長、担当係長、担当職員
- 4 会議内容
○応募団体（戸畑スポーツコミュニティ共同事業体）より提案概要に関してヒアリング。
（提案書の内容につき説明）
○応募団体（戸畑スポーツコミュニティ共同事業体）との質疑応答。

(構成員)

- ・新しくできた施設だが、せっかく建設するのであればこうすればよかったのにという気付きはないか。

(応募団体)

- ・駐車場がもっとあれば、積極的な大会誘致が出来ると思う。
- ・その他はよく考えられていると思う。

(構成員)

- ・第一警備保障の決算書について、利益が大きく変動している理由を伺いたい。

(応募団体)

- ・人手不足その他などにより、効率化を図り、利益の出ない取引先は打ち切ったため、昨年度は減少している。特に機械警備では競合他社との金額争いに苦戦しており、あまり無理な競争はしないという方針に切り替えた。

(構成員)

- ・人手不足のために人件費を増やしていかなければならないと思うが、平成30年度の役員報酬が平成29年度に比べ大きく増えている。人件費はあまり変動が無い。役員報酬の増加が大きいのはなぜか。

(応募団体)

- ・これまでの実績や売り上げを基に役員報酬を減らしていたが、平成30年度では、業績が回復したため報酬額も従来額に近づいている。

(構成員)

- ・戸畑区の総合型地域スポーツクラブとの連携した事業の具体的な取り組み方法や指定管理者として、総合型地域スポーツクラブとどのような付き合いをイメージしているのかについて伺いたい。

(応募団体)

- ・利用者が我流でスポーツや健康づくりを行っていることが見受けられるため、指導者やトレーナーを厚くしたいと考えている。例えば、NPO法人戸畑コムスポは、トレーニング室を運営しているが、指定管理者で少しサポートして、NPO法人戸畑コムスポも一緒に健康づくりに対して指導できるように、資質を向上していくという取り組みを考えている。

(構成員)

- ・人口減少と高齢化への対策は考えているか。

(応募団体)

- ・元気な高齢者を積極的に採用したい。
- ・利用者は健康づくりを個人で考えているため、専門的に提案して行きたい。

(構成員)

- ・運動型健康増進施設の認定を目指すメリットを伺いたい。

(応募団体)

- ・将来的には医療費の控除などに結び付くが、このような認定を受けることにより浅生スポーツセンターの認知度や立ち位置が他の施設と違うということでメリットを感じると考える。

(構成員)

- ・マイナー競技での利用に対する対応について伺いたい。

(応募団体)

- ・今回、ニュースポーツの提案を行っている。大会利用も優先的に入ってくるが、マイナー競技についてもスポーツ振興の観点から盛り上げていきたい。

(構成員)

- ・他団体との交渉がスムーズにいくか。

(応募団体)

- ・稼働率が高い状態なので、可能な限り早い段階から協議をし、空き状況を共有しながらやっていけば出来ると思う。

(構成員)

- ・前例のない取り組みとは何か。

(応募団体)

- ・栄養指導、食育講座、吉本興業と連携したお笑いスポーツ大会、eスポーツを実施した。そういったことが新しい取り組みである。

(構成員)

- ・吉本とコラボではコストがかかると思うが、自主事業は収益を上げないといけないが、そのあたりのバランスはどう考えているか。

(応募団体)

- ・毎月の予算・決算を見ながら、実施の予算を執行していくので、コスト管理は出来ている。

(構成員)

- ・北九州市で、指定管理業務を行うメリットとデメリットについて伺いたい。

(応募団体)

- ・メリットは行政が新しい取り組みに積極的であること。
- ・デメリットは地域に密着するのに時間がかかること。

(構成員)

- ・他の自治体と比べて、もう少しこうすればいいという案はないか。

(応募団体)

- ・新しい取り組みをさせていただいているのでデメリットは感じていない。

(構成員)

- ・指定管理料は十分か。

(応募団体)

- ・気を緩めることはできない状況だが、コスト縮減も行政の大命題の一つであるため、市と手を組みながらやっていくということを前提で提案を行っている。

(構成員)

- ・予算が無いからではスポーツの活性化にならないのではないか。

(応募団体)

- ・ほかの施設に比べると自主事業がかなり多いと思う。売り上げも自主事業でかなりカバーしているため、そういったものが民間に求められるものであると思うのでモデルになればいいと思う。

(構成員)

- ・前回の提案では吉本興業とのタイアップを前面に打ち出した提案となっていたと記憶している。今回は地に足のついたしっかりとした提案となっている。吉本のイベントを1回しか開いていないのはコストの問題なのか。

(応募団体)

- ・吉本とは毎年出来るようなコスト感ではないため、前回の期間で1回の開催としている。

(構成員)

- ・大会開催時の場内清掃は、借り手側が行うのが一般的であると思うが、指定管理者が行っていた。丁寧であると感じたが、善意で指定管理者が行っているのか、借り手側とうまく話がつかなかって行っているのか伺いたい。

(応募団体)

- ・基本的には借り手が清掃を行うものであるが、サービスのなもので行っている。

(構成員)

- ・働いている方の勤務条件に支障のない範囲でサービスのなものを行っているし、今後も続けるということによろしいか。

(応募団体)

- ・受付スタッフも利用者の視点に立って、常に出来ることは自分たちでやるということは開館当初からやっているなので、継続していく。

(構成員)

- ・モラルの問題を利用者に指導するべきだと思うがどう考えるか。

(応募団体)

- ・使い方や片づけの仕方をスタッフが徹底して案内している。

(構成員)

- ・参加する団体との使用契約書にごみ処理は自分たちで行うことや違反した場合は次回の使用を許可しない可能性があるなどの言葉は入っていないのか。

(応募団体)

- ・申請書を交わす際に作成している注意事項に沿って説明している。また、浅生スポーツセンターにはごみ箱を設置していないため、個人も団体もごみは自分で持ち帰ることとしている。

(構成員)

- ・これまでにあった利用者からの意見で具体的に取り入れていることはあるか。

(応募団体)

- ・ハード面での意見が多い。更衣室にドライヤーが無いという意見があり、ドライヤーを設置した。
- ・駐車場から入口まで濡れないような通路を作ってほしいという対応しようがない要望については、どうしようもないことを理解してもらっている。

- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換。

(構成員)

- ・2期目に向けて人とのつながり、パートナーづくりを基本方針に掲げており、その取り組みが継続した施設の運営に向け可能性があると感じた。

(構成員)

- ・スポーツ以外の講座も積極的に取り入れることにより、今度はスポーツで来てみようというような施設利用の促進につながると思う。
- ・戸畑あやめなどの地域色を大事にしており、好感を持つことができた。

(構成員)

- ・この3年間の実績に基づいた意欲的な提案となっている。
- ・地域の団体と連携してきちんと対応していただけたらと思う。

(構成員)

- ・自主事業においてはスポーツをしない人に興味や関心を得られる提案があったので、工夫されていると思った。
- ・施設が新しいため、メンテナンスの費用があまりかかっていないと思う。長期的にコストがどれくらいかかるのかが不安要素であると感じた。

(構成員)

- ・ポイントをついた説明でとても分かりやすかった。それは、平日頃の仕事とこの資料があまり乖離をしていないということがよくできていると思った。

- ・構成企業の財務内容については、代表企業に比べ、不安要素があると感じたが、全体的には良くまとまっていると感じた。

5 検討会としての検討結果について

各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての各審査項目の評価レベルを下記のとおり、決定した。

1 指定管理者としての適性のうち、

- (1) 施設の管理運営に関する理念、基本方針については、3
- (2) 安定的な人的基盤や財政基盤については、3
- (3) 実績や経験などについては、4

2 管理運営計画の適確性に関する有効性のうち、

- (1) 施設の設置目的の達成に向けた取組みについては、4
- (2) 利用者の満足度については、4

効率性のうち、

- (3) 指定管理業務に係る経費については、3
- (4) 収支計画の妥当性及び実現可能性については、4

適正性のうち、

- (5) 管理運営体制などについては、3
- (6) 平等利用、安全対策、危機管理体制などについては、3

- ・様々な関係団体と連携した内容での提案を行っていることや、施設利用者数を増やす取り組みとしてスポーツ以外での施設利用に関する提案を積極的に行っていることは特に評価できる。以上のことから、浅生スポーツセンターの業務を行うのに十分な適格性を有していると考える。

- ・付帯意見については、特になし。